

2月春まじぐら



2 こんにちば

秋山 藤・ひめさんご夫婦
(新 島)

「昔は、よく釣りに行きましたね」とひめさんが話すと、「釣りが好きでね。前はよく立会へ行きまして。弁当を持って銚子まで行ったこともあるんですよ。昔はよく釣れたんですがね」と藤さんが話を続ける。八十二歳と七十六歳になるご夫婦。息もびったり。「八歳と十二歳になる孫の成長が楽しみです」と目を細めながら話す秋山さん。これからも元気に毎日をお過ごしください。

今年金婚式を迎えられた、新島の秋山藤さん、ひめさんご夫婦をお尋ねしました。
「こんにちば」と声
昔はよく釣りに行っていたよ
私もお五時半には起きます。それから食事をして、八時か九時ころで



スイスへ行きたい
伊藤ゆき江さん(東)

お勤め先と家族をお知えてください。「私は町内の金融機関へ勤めています。農業をやっている両親、祖父母、それに美容師の妹、六人家族です」と話す伊藤さんは、明るくほがらかで旅行が大好きという。「年に一度は必ず旅行に行きます。今年も、長野へ行ったんですが台風のために、途中で帰ってきてしまいました」と少し寂しそう。今まで行ったところでは印象に残っているところは、「ハワイなんかもよかったです。上高地の正池が一番印象に残っています。歩いて部落をひと回りするんですよ」と話す秋山さん。健康には、早寝、早起き、規則正しい生活、そして体を動かすことが一番いいということ。

考えられ、平素信仰していた栗島の境内に納めたとのことです。板碑について、歴史事典等には、石塔婆の一種で常陸、房州、相模、武蔵等で産する石で、秩父地方の緑泥片岩に類似するものを用いている。上部に太線を配し、その下に梵字、仏像、経文等を、さらにその下に花瓶、宝塔などを、また両側に年号記銘等が刻まれている。鎌倉・室町時代の建立が最も多く、主として、関東地方に見受けられる……とあります。



▲ 地蔵様とならぶ2基の板碑

す。県からも調査があり、碑面の拓本をとっていますので、近く結果が分かると思います」と話しておられました。町教育委員会でも文化財審議会に諮問しましたが「県などの専門的な調査を待つて、再び審議してはどうか」と答申されております。

横芝町文化財審議会委員
小沢春光氏寄稿